

松谷会長記者会見の概要

日 時：令和2年6月11日（木）15時00分～15時30分

場 所：（電話会見）

（質疑応答）

記者：

今月を振り返ると、個人投資家による資金流入が続き、日経平均株価も昨日までは上昇していたが、本日は前日比で約600円反落している。これから相場が下がるかもしれない中で、今後どのような動きになりそうか。

松谷会長：

市況について語る立場にはないが、個人投資家の中には、株価が下落したことを受け、逆張りのスタンスで短期間で利益を出そうと投資信託を買付けられた方がいたのも事実だと思う。

一方、当協会は長期・積立の資産形成を推奨しており、4月や5月の株価が上がったり、下がったりしたこととは関係なく、また、今回のような大きなショックがあった場合でも、20年先、30年先を見据えて、コツコツ投資を継続していただきたいと考えている。6月初旬までの株式市場については、個人的にも株価上昇のスピードが少し早かったと思う。仮に6月の相場が低迷するとすれば、長期の資産形成をしていただきたい方々にとってはより多くの口数を購入できる機会になろう。どちらにしても、20年先、30年先のことを考えてじっくり投資を続けて欲しいと思う。

記者：

Factbookにあるように、株式投信における毎月決算型ファンドの純資産総額のシェアは下がっているが、2ヶ月連続の流入超過で残高は増えている。全体に対してのシェアが下がっているのは、投信全体への資金流入が続く中でも毎月決算型ファンドの人气が衰えており、その他の投信に投資家が惹きつけられているように思われる。毎月決算型ファンドの特徴をどのように捉えているか。また、この流れはこのまま続くのか。

松谷会長：

投信全体の趨勢の中で、今後どの程度の比率になるのかは定かでないが、特にシニアの方々の投資対象として一定程度の分配があるファンドは必ずしも否定されるものではなく、ニーズはあると思う。

先程記者の方がおっしゃったように、様々なタイプの投資信託への資金流入、特に今月も海外株式型を中心に資金流入が続いており、DC向けファンドについても安定的な資金流入が見られた。また、バランス型についても、先月の会見で、「資金流出となったのは、特定のファンドの繰上償還が決まり、償還前に投資家が売却したケースが大半であり、バランス型全体について大きく資金流出したとは認識していない」と申し上げたが、結果とし

て、積み立て投資は継続されており、5月は元に戻って資金流入となった。

このように様々なタイプのファンドへの資金流入が続くとすると、毎月決算型ファンドのシェアはもう少し下がるかもしれないが、その割合がゼロになることはないと思っている。

記者：

シニア以外からバランス型等の長期資産形成向けのファンドに対する投資が増えている中で、特にシニア向けとされていた毎月決算型はシェアが低下する傾向にある。分配金の低下もその要因の一つなのか。

松谷会長：

無理に分配金を払い続け、元本部分が減ってしまう分配方法はおかしいという批判を受けたこともあり、近年は適切な分配が行われているものと認識している。ご指摘のように分配金の低下がシェア低下の主な要因の一つだと理解して良いだろう。

記者：

ETFの購入は日銀の金融政策として行われているが、日本では残念ながらETFの市場が機関投資家や個人にそれほど広がっているようには思えない。世界では様々なETFが設定されており、資産形成の手段として使われているが、日本では資産形成の手段になっていないと思う。この点をどのようにお考えだろうか。

松谷会長：

ETFには様々なタイプがあるが、流動性が低いということが課題認識されており、その一環でETFのレンディングが始まるという話を聞いている。そういった諸々の課題を解決していくことが更なる市場を拡大していく上で必要ではないかと思う。

個人投資家は、ETFの他、インデックスの方が積立投資しやすい側面もあるのではないかと。個人投資家の方の中には、ETFではなく株価指数先物取引等を利用している方もおられるし、また、インデックス型投信でも代替できるのではないだろうか。ETF以外にも手段はあろう。

記者：

資料「投資信託の主要統計」の「17. 確定拠出年金(DC)向けファンドの市場規模(推計)」について伺いたい。2020年4月は402億円の資金流入があったと伺っているが、5月の資金流入はどの程度の規模か。

松谷会長：

5月の資金流入額は845億円である。

記者：

この数字は過去最高なのか。

松谷会長：

昨年の9月にある企業の年金がDBから企業型DCへ移管されたときに、約2,000億円の資金流入がみられた。今回、同様の要因があったのかどうか確認できていないが、比較的多い資金流入があったと認識している。

以 上